

大阪文化芸術創出事業の実施方法及び目標設定について

対象受検機関：府民文化部文化・スポーツ室

事務事業の概要	検出事項	改善を求める事項(意見)								
<p>1 大阪文化芸術創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた府内の文化芸術活動の支援を行うため、大阪にゆかりのあるアーティスト、演芸人などの文化芸術家や楽団等の公演・活動の場を創出することを目的に「公演機会創出事業」及び「活動助成事業」を実施する。 <p>公演機会創出事業：府内各地のホール等において、大阪ゆかりのアーティスト・演芸人・楽団・劇団等による公演を実施 事業費150,000千円（大阪府75,000千円、大阪市75,000千円）</p> <p>活動助成事業：業として府内の施設を利用して公演や作品展示を行う個人または団体に対し、大きな負担となっている施設使用料を補助 事業費150,000千円（大阪府75,000千円、大阪市75,000千円）</p> <p>実施主体：大阪文化芸術創出事業実行委員会（大阪府、大阪市、大阪商工会議所、大阪観光局、関西観光本部）</p> <p>2 事業実施方法について</p> <p>(1) 公演機会創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪文化芸術フェス2021と併せて公募型プロポーザル方式による提案募集を実施。事業者選定委員会での審査を経て、事業者と委託契約し、事業を実施している。 <p>《令和3年度両事業の目的及び実施事業》</p> <p>公演機会創出事業</p> <table border="1" data-bbox="320 1037 1911 1304"> <tr> <td>【目的】</td> <td>新型コロナウイルスの感染拡大により甚大な影響を受けた府内の文化芸術活動の回復に取り組むため、大阪ゆかりのアーティスト・演芸人や劇団・楽団等の公演・活動の場を創出するとともに、府民に文化芸術に触れる機会を提供</td> </tr> <tr> <td>【実施事業】</td> <td>「秋の音楽会～ドヴォルザーク交響曲～」 「OSAKA LAUGH&ART2021（寄席、現代アートの展示）」 「第二回大阪落語祭」 「STATION TO STATION～あなたの駅のものごと～（大阪の「駅」にまつわる演劇公演）」 「大阪 MUSIC LOVER～Road to 2025～（大阪ゆかりのアーティストによる音楽公演）」</td> </tr> </table> <p>大阪文化芸術フェス2021</p> <table border="1" data-bbox="320 1377 1911 1604"> <tr> <td>【目的】</td> <td>府内各地にある文化資源や地域の魅力も活用しながら、多彩で豊かな文化の魅力を発信し、観光客を呼び込むことを目的に実施</td> </tr> <tr> <td>【実施事業】</td> <td>「大阪文化芸術支援プログラムIN万博記念公園（大型アートの展示、広場でのステージ公演等）」 「府内各地の文化資源（神社、文化財等）を舞台とした公演」 「大阪文化芸術祭～That's Entertainment of OSAKA（ジャズ、ブルース、漫才、歌舞伎、能楽等）」 「参加プログラム（他の団体が主催するプログラムで、広報等において連携する事業）」</td> </tr> </table> <p>(2) 活動助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 受付審査業務等については、事業者と委託契約している。 1期2期に分けて募集し、1期466件、2期510件、合計976件の申請があり、期別に全ての申請について無作為抽出により審査順を決定した。要件を審査し、予算の範囲内において、補助金の交付を決定（433件。申請の約44%）している。また、1期2期両方の重複受給が可能な制度となっている。 	【目的】	新型コロナウイルスの感染拡大により甚大な影響を受けた府内の文化芸術活動の回復に取り組むため、大阪ゆかりのアーティスト・演芸人や劇団・楽団等の公演・活動の場を創出するとともに、府民に文化芸術に触れる機会を提供	【実施事業】	「秋の音楽会～ドヴォルザーク交響曲～」 「OSAKA LAUGH&ART2021（寄席、現代アートの展示）」 「第二回大阪落語祭」 「STATION TO STATION～あなたの駅のものごと～（大阪の「駅」にまつわる演劇公演）」 「大阪 MUSIC LOVER～Road to 2025～（大阪ゆかりのアーティストによる音楽公演）」	【目的】	府内各地にある文化資源や地域の魅力も活用しながら、多彩で豊かな文化の魅力を発信し、観光客を呼び込むことを目的に実施	【実施事業】	「大阪文化芸術支援プログラムIN万博記念公園（大型アートの展示、広場でのステージ公演等）」 「府内各地の文化資源（神社、文化財等）を舞台とした公演」 「大阪文化芸術祭～That's Entertainment of OSAKA（ジャズ、ブルース、漫才、歌舞伎、能楽等）」 「参加プログラム（他の団体が主催するプログラムで、広報等において連携する事業）」	<p>1 活動助成事業補助金は、1期2期に分けて募集し、無作為抽出により審査順を決定のうえ、予算の範囲内で交付を決定している。しかしながら、交付率が約44%と低く258者が不交付となっているにもかかわらず、重複申請可能な制度であることから、18者が複数の交付決定を受けている。</p> <p>2 公演機会創出事業は、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けている文化芸術活動の支援を目的とする緊急対策的な事業であり、大阪ゆかりのアーティスト等への幅広い支援が求められるが、目標値の設定に当たって、観光集客を目的として継続的に実施してきた大阪文化芸術フェスの目標・実績を参考としており、当該事業の達成状況を確認する上で十分とは言えない。</p>	<p>1 活動助成事業の補助金については、既に当該事業年度に交付決定を受けた者の優先順位を下げる等、事業目的に沿って幅広く公平に支援出来る制度となるよう見直しを実施されたい。</p> <p>2 事業の有効性を検証する観点から、幅広い対象者への支援となっているか等、事業目的に沿った目標を設定するよう検討されたい。</p>
【目的】	新型コロナウイルスの感染拡大により甚大な影響を受けた府内の文化芸術活動の回復に取り組むため、大阪ゆかりのアーティスト・演芸人や劇団・楽団等の公演・活動の場を創出するとともに、府民に文化芸術に触れる機会を提供									
【実施事業】	「秋の音楽会～ドヴォルザーク交響曲～」 「OSAKA LAUGH&ART2021（寄席、現代アートの展示）」 「第二回大阪落語祭」 「STATION TO STATION～あなたの駅のものごと～（大阪の「駅」にまつわる演劇公演）」 「大阪 MUSIC LOVER～Road to 2025～（大阪ゆかりのアーティストによる音楽公演）」									
【目的】	府内各地にある文化資源や地域の魅力も活用しながら、多彩で豊かな文化の魅力を発信し、観光客を呼び込むことを目的に実施									
【実施事業】	「大阪文化芸術支援プログラムIN万博記念公園（大型アートの展示、広場でのステージ公演等）」 「府内各地の文化資源（神社、文化財等）を舞台とした公演」 「大阪文化芸術祭～That's Entertainment of OSAKA（ジャズ、ブルース、漫才、歌舞伎、能楽等）」 「参加プログラム（他の団体が主催するプログラムで、広報等において連携する事業）」									

補助要件：＜対象者＞文化芸術活動を業として自らの費用で主催する個人または団体
 ＜対象経費＞令和3年9月1日から12月31日までの間に実施する有料の舞台公演・作品展示に要する施設使用料
 ＜対象施設＞大阪府内の劇場、ホール、ライブハウス、美術館、ギャラリー等で、大阪文化芸術創出事業実行委員会に登録されている施設
 補助金額：＜舞台公演＞1日あたり上限50万円×最大2日分（100万円）まで【補助率10/10】
 ＜作品展示＞1会期あたり上限50万円まで【補助率10/10】
 申請受付期間：2期に分けて実施
 ＜第1期＞令和3年7月15日～7月30日【9月1日～10月31日の事業】
 ＜第2期＞令和3年9月15日～9月30日【11月1日～12月31日の事業】
 申請上限：① 出演者・作家1人または1グループにつき、1公演（会期）まで
 ② 同一施設につき1月あたり10日まで

3 目標値とその設定根拠及び実績について

(1) 公演機会創出事業

・公演機会創出事業及び大阪文化芸術フェスを合わせ、令和元年度大阪文化芸術フェスの目標や実績を参考に指標を設定している。活動指標及び成果指標は令和元年度大阪文化芸術フェスと同一項目となっている。

活動指標	成果指標
≪目標値≫新聞・テレビ等に取り上げられた件数：64件 ≪実績値≫新聞・テレビ等に取り上げられた件数：180件	≪目標値≫プログラム公演数：85回 集客目標値：250,000人 ≪実績値≫プログラム公演数：132回 集客実績値：285,621人

・経済波及効果調査を実施（公演機会創出事業、大阪文化芸術フェスを合わせ算出）
 経済波及効果21.9億円（参加者の消費額による経済波及効果13.3億円 開催事業費による経済波及効果8.5億円）
 ・来場者に対し、イベントの感想等について、アンケートを実施し、ほぼ9割が「非常によかった・よかった」との回答であった。

(2) 活動助成事業

・予算上限まで補助金を交付できるように申請件数を目標として設定している。
 ≪目標値≫申請件数：280件【第1期・第2期合計】
 ≪実績値≫申請件数：976件【第1期466件・第2期510件】 交付件数：433件【第1期187件・第2期246件】
 ※令和3年における「申請事業者数」は、通期（1期と2期の合計）で476者、うち不交付は258者。1期・2期の重複申請事業者98者、うち1期・2期ともに交付決定を受けた事業者は18者。18者の交付件数は37件。
 ・申請者に対し、制度の条件等についてアンケートを実施し、7割以上が「満足・やや満足」との回答であった。

監査（検査）実施年月日（委員：令和4年8月4日、事務局：令和4年6月3日から同月22日まで）